

東奥日報

2018年(平成30年)12月22日土曜日(16)

風船移す性能競う

八工大生がロボコン

八戸

八戸工業大学機械工学科のロボットコンテスト(ロボコン)が21日、同大で開かれた。同学科3年生50人がチームごとに工夫を凝らして製作した自慢のロボットの性能を競い合った。

ロボコンは「ロボット創作」の授業の一環で、今回が21回目。学生は8班に分かれ、各班2台ずつロボットを製作した。競技は、1台のロボットが陣地A内にある箱の中から直径7センチほどの風船16個を陣地Bに移



ロボットを操作して筒の上に風船を置く学生たち

動し、もう1台が風船を陣地B内にある高さの異なる筒の上に置いた個数や所要

時間を競った。学生は指示を出し合いながら、無線コントローラーで操作。1個ずつ確実に運搬するロボットもあれば、一度に複数個を扱える優れたものも。掃除機を応用して

風船を吸い上げて移動させるロボットも登場し、会場は盛り上がった。参加した磯嶋将さん(20)は「風船をつかむアーム部分の形を工夫して確実に風船を移動できるようにし

た。班のみんなまで協力してパーツごとにうまく分担しながらできた」と話した。(高松拓輝)